

非小細胞肺癌における胸膜近傍病変の臨床病理学的検討 に関する臨床データの研究利用についてのお願い

研究の概要・背景

（研究の概要）

切除可能な原発性非小細胞肺癌（ステージ：Ⅰ期）に対し、解剖学的肺切除（区域切除・肺葉切除・二葉切除・肺全摘）を施行された患者様を後方視的に集積し、CT 画像より得られた腫瘍-胸膜間距離を計測し、胸膜に近い腫瘍が手術成績に与える影響を検討し明らかにします。

（研究の背景・意義）

当院では、肺癌の手術治療に関する研究を行っています。

肺癌は手術によって治療できることが多い病気ですが、一部の患者様では再発したり、手術後の経過が良くない方もいます。最近の研究では、手術の方法（肺の一部を切除する「区域切除」と、より広い範囲を切除する「肺葉切除」）によって再発のしやすさや生存率に違いがあることが分かってきました。

特に、がんが肺の表面（胸膜）近くにある場合には、がんが胸膜やリンパの流れを通じて広がりやすいことがあるため、治療（手術の術式）の方法を慎重に検討する必要があります。そこで当院では、胸膜近くにできた肺癌に対して行った手術の経過や再発の状況を調べ、より良い治療方法を検討するための研究を進めています。

試料・情報の利用目的・方法（他機関への提供を含む）

本研究は、解剖学的肺切除を施行された非小細胞肺癌（臨床病期Ⅰ期）患者様に対し、電子カルテ内の病歴、血液検査結果、画像診断情報、病理診断情報、治療後の転帰・予後などを利用致します。そのうち画像上の腫瘍-胸膜間距離が、長期成績に与える影響を分析することを目的としています。腫瘍-胸膜間距離の評価は CT 解析ソフトを用い評価致します。

本研究は、当院のみで行う研究であるため、他機関への情報提供はございませんし、得られたデータの取扱いに関し、研究責任者は個人情報の保護に細心の注意を払い、情報の漏洩、紛失、転記、不正な転写などがないように管理致します。

対象者・期間

（対象者）2014 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までに当院において、切除可能と判断された非小細胞肺癌患者様のうち、解剖学的肺切除（区域切除・肺葉切除・二葉切除・肺全摘）を施行された臨床病期Ⅰ期患者様を解析対象と致します。

（期間）当院倫理委員会承認日から 2028 年（令和 10 年）12 月 31 日

データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院

担当医師：呼吸器外科 佐藤征二郎

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1

電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)